

「山形工科短期大学校」（以下、短大校）は、山形県内の建設業の人材を育成するため、「職業訓練法人山形工科アカデミー」（1996年設置、山形県より認可）が設立した認定職業能力開発短期大学校です。

短大校の教育訓練は、文科省の短大に相当する、高卒以上を対象とした「高度職業訓練 専門課程」。設置する学科は「居住システム系 住居環境科」で、建築を中心とした住環境の企画・設計・施工・管理などに関する基本的な知識・技術を修得した実践的技術者の育成が目標です。

短大校カリキュラムによる人材育成を希望する企業は、「職業訓練法人山形工科アカデミー」の会員となり、自社社員を2年間、「建築研究生」として本学に派遣する。当該企業を「派遣企業」といいます。

2年間の教育訓練は、「建築研究生」自身の努力はもとより、「派遣企業」「山形工科短期大学校」と併せた三者の緊密な連携により高い成果が期待されます。

【学生】

派遣企業の社員であり、かつ建築研究生として給与を受給しながら修学するため、学生でありながら同時に社会人としての立場となります。

【派遣企業】

建築研究生は、2年間の大多数の時間、本学での修学に専念し、これが労働時間とみなされます。この労働時間に対して、派遣企業は建築研究生に賃金を支払い、これに対して国は派遣企業に対して賃金助成を行います。

(詳細はお問い合わせ下さい)